令和９年度（2027 年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程学生募集要項

【目次】

第１　募集人員…… 1

第２　出願資格…… 1

第３　出願手続…… 3

第４　入学者選抜試験……13

第５　合格発表 ……18

第６　入学手続 ……18

第７　個人情報の取り扱いについて……19

第８　音楽研究科博士（後期）課程の概要……20

【問合せ先】
京都市立芸術大学　教務学生課　入試担当
〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1
TEL：075-585-2005
E-mail：admission-music@kcua.ac.jp

―大学院音楽研究科博士（後期）課程の教育・研究目的―

音楽研究科博士（後期）課程は、高度で専門的な音楽芸術の研究を行い、世界的に活躍しうる音楽家、音楽学者を育成することを目的とします。

◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

音楽研究科博士(後期)課程は、次のような学生を求めています。

1. 優れた演奏・創作を実現するための高度な技術力、分析・解釈力、及び表現力を備えた人材
2. 外国語を含めた高度な言語運用能力、及び論理的思考力を備えた人材
3. 高い目的意識を持って音楽芸術に関する研究を行い、その成果を社会へと幅広く発信する能力を備えた人材

■ 入学前に身につけてほしい力

音楽研究科博士(後期)課程は、以下のような能力を入学までに身につけることを期待します。

作曲・指揮領域

〈作曲〉

・高度な作曲技術を身につけ、それらを自由に創作に応用できる能力
・豊かな知見を有し、独自の観点や感性を表現できる能力
・創作と学術研究を柔軟かつ有機的に結び付けられる能力

〈指揮〉

・音楽家を束ねるリーダーとしての資質を備え、演奏会を成功に導くために適切かつ効果的に行動できるマネジメント能力
・高度な読譜能力と指揮技術、及び演奏解釈を的確に奏者に伝えられるコミュニケーション能力
・演奏実践と学術研究を柔軟かつ有機的に結び付けられる能力

器楽領域

〈ピアノ〉

・バロックから近現代までの重要なレパートリーを深く理解し、高いレベルで演奏できる能力
・音楽史や関連分野についての広範な知識をもとに、説得力のある演奏解釈を展開できる能力
・演奏実践と学術研究を柔軟かつ有機的に結び付けられる能力

〈弦楽〉

・バロックから近現代までの重要なレパートリーを深く理解し、極めて高度な技術と表現力を伴った演奏ができる能力
・独自の演奏解釈を実現するための強い個性、及びより深く、卓越したアンサンブルを構築するための優れたコミュニケーション能力

・演奏実践と学術研究を柔軟かつ有機的に結び付けられる能力

〈管・打楽〉

・それぞれの楽器におけるバロックから近現代の重要なレパートリーを深く理解し、高いレベルで演奏できる能力

・高度なアンサンブルを構築するための優れたコミュニケーション能力

・演奏実践と学術研究を柔軟かつ有機的に結び付けられる能力

声楽領域

・発声法や体の使い方、各声楽ジャンルについての専門的な知識を有し、それらを的確に歌唱に反映させられる能力

・諸言語のディクションに精通し、テクストの内容に対する深い理解をもとに説得力のある表現を行える能力

・演奏実践と学術研究を柔軟かつ有機的に結び付けられる能力

音楽学領域

・音楽や関連分野に関する高度で専門的な知識

・先行研究を批判的に読解でき、かつ資料やデータを適切に分析できる能力

・修士課程における研究を踏まえて博士論文に繋がる研究計画を自ら立て、研究成果を論理的にまとめられる能力

■　**入学試験の基本的な考え方・方針**

音楽研究科博士（後期）課程は、上記の入学者受入れの方針に合致する学生を選抜するため、以下の試験を課します。

1. 全ての研究領域において、二段階選抜を実施します。
2. 一次試験として書面審査を行い、研究計画書等の提出物の内容を考慮して総合的に判定します。一次試験の合格者のみが二次試験を受験することができます。
3. 作曲・指揮研究領域、器楽研究領域、声楽研究領域は、実技の能力を重視すると共に、語学試験、面接及び成績証明書等を考慮して総合的に判定します。
4. 音楽学研究領域は、語学試験、面接及び成績証明書等を考慮して総合的に判定します。

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽研究科博士（後期）課程は、次の力を身につけることを目指し、カリキュラムを編成し、実施します。

1　高度で専門的な音楽芸術の研究を通じて培われる想像力、表現力、構想力、思考力、独創力
2　実践的な実技指導や特別総合演習などの討論を通して得られる、必要な課題と解決方法を導き出す能力
3　専門分野にとどまらず、他分野にまたがる広範で深い知見と問題意識
4　社会との双方向的コミュニケーションをなしうるスキル

◆ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

音楽研究科博士（後期）課程は、修了時までに達成すべき目標を以下のとおりとします。

1　実演、創作、学術研究の各分野における、専門的音楽人として相応しい音楽的もしくは学術的に極めて優れた想像力、表現力、構想力、思考力の獲得
2　解決すべき課題を自ら創出し、自律的にその解決への道筋を整えることのできる能力の習得
3　他分野に対しても幅広く深い知見と問題意識を有し、それらについて社会と双方向的に創造的コミュニケーションを図り、グローバルな視野をもって芸術文化の発展に深く寄与できる能力の修得

第１　募集人員

（標準修業年限３年）

専攻	研究領域	募集人員
音楽	作曲・指揮 器楽 声楽 音楽学	5 名 ＊社会人特別選抜（若干名）を含む。

注１ 器楽領域のうち、管・打楽器の志望者は出願前に必ず教務学生課にメールでお問い合わせください。

注２ 論文指導に関する事前相談は必須ではありませんが、希望する場合には教務学生課にメールでお問い合わせください。

※いずれも詳細は 12 ページ参照。

第２　出願資格

１　一般選抜　(1)～(8)のいずれかに該当する必要があります。

(1)　修士の学位または専門職学位を有する者及び令和 9 年 3 月 31 日までに取得見込みの者

(2)　外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(4)　我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(5)　国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 9 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

(6)　外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7)　文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）

(8)　本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者

注　出願資格(8)の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続を要するため、「３　資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

２　社会人特別選抜

特別選抜とは、大学院における専門教育の開放と交流を目的とし、外部機関による外国語資格・検定試験の成績証明書等の提出を免除するもので、一般選抜の出願資格のいずれかに加えて以下の(1)～(3)のいずれかに該当する社会人を対象とします。

ただし、特別選抜は外国語の能力が入学後の研究遂行に不要であるということを意味するものではありません。入学後、音楽に関する研究をするうえで、外国語の文献等を読解できる程度の語学力が必要となります。

なお、外国人留学生特別選抜は実施しません。外国人留学生の方は、必ず「第３ 出願手続き ３（5）外部機関による外国語資格・検定試験の成績証明書等」の記載に従って、必要な成績証明書等を提出してください。

【社会人特別選抜出願資格】 １(1)～(8)のいずれかに加えて以下のいずれかに該当する必要があります。

(1) 出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者

(2) 出願しようとする研究領域に関連した職種に 3 年以上の勤務経験を有すると本大学院が認めた者

(3) 出願しようとする研究領域に関連した活動を 3 年以上行っていると本大学院が認めた者

注 特別選抜による受験を希望する者は、出願資格認定審査等の手続を要するため、「３ 資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

３ 資格認定希望者提出書類

(1) 個別の出願資格認定を希望する者（第 2 出願資格 1 一般選抜(8) に該当する者）

令和 8 年 12 月 1 日（火）〔必着〕までに教務学生課入試担当へ以下の書類（A4 縦長・横書き）を郵送すること（持参不可）。封筒表面に「音楽研究科博士課程 出願資格認定審査希望」と朱書してください。結果は令和 9 年 1 月 4 日（月）までにお知らせします。

［提出書類］
- （様式 1）出願資格認定審査申請書（本募集要項の最後に掲載）
- 履歴書：高等学校卒業以降の学歴及び職歴を記載したもの（様式不問）
- 業績書：著書、論文、作品、演奏会出演歴等の業績を記載したもの（様式不問）

※出願資格と社会人特別選抜の両方の資格認定を希望する場合は、以下(2)に記載する書類を提出してください。

(2) 社会人特別選抜の資格認定を希望する者

令和 8 年 12 月 1 日（火）〔必着〕までに教務学生課入試担当へ以下の書類（A4 縦長・横書き）を郵送すること（持参不可）。出願資格と社会人特別選抜の両方の資格認定を希望する場合はこちらの書類のみ提出してください。

封筒表面に「音楽研究科博士課程 社会人特別選抜資格認定審査希望」と朱書してください。結果は令和 9 年 1 月 4 日（月）までにお知らせします。

［提出書類］
- （様式 2）社会人特別選抜資格認定審査申請書（本募集要項の最後に掲載）
- 履歴書：高等学校卒業以降の学歴及び職歴を記載したもの（様式不問）
- 業績書：著書、論文、作品、演奏会出演歴等の業績を記載したもの（様式不問）
- 所属長の推薦書（社会人特別選抜出願資格⑴に該当する者のみ）

第３　出願手続

インターネット出願システムを利用し、出願情報等の必要事項を登録のうえ、必要書類を提出期間内に簡易書留・速達郵便で郵送してください。

１　必要なインターネット環境

パソコン	Windows： Microsoft Edge（最新バージョン） GoogleChrome（最新バージョン）、Firefox（最新バージョン）
	MacOS　： Safari（最新バージョン）
スマートフォン タブレット	Android　：14.0 以上（Android Chrome 最新バージョン） iOS　　：17.0 以上（Safari 最新バージョン）

(1)　どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。

・JavaScript を有効にする。

・Cookie を有効にする。

(2)　セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

２　出願手順

（１）アカウント作成　※Post@net のアカウントをお持ちでない場合

インターネット出願登録サイトの利用にはアカウントが必要になりますので、下記の手順でアカウントを作成してください。既にアカウントをお持ちの方は、⑦から始めてください。

【アカウント作成の流れ】

① 京都市立芸術大学ホームページ（https://www.kcua.ac.jp/admission/internet_application/）にアクセス。

②「インターネット出願受付」をクリックして出願ページを開きます。

③ Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。

④ 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック。

⑤ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。

⑥ 仮登録メールの受信から 60 分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。

⑦ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。

⑧「学校一覧」から「京都市立芸術大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

※アカウント作成の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール（Gmail や Yahoo!メールなど）や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン（@kcua.ac.jp、@postanet.jp）を受信指定してください。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時に、登録した

メールアドレスに確認メールが自動送信されます。

▼

（2）インターネット出願登録期間・方法

令和 9 年（2027 年）1 月 4 日（月）から**1 月 14 日（木）17 時 00 分**まで

本学のインターネット出願登録サイトにアクセスし、出願情報等の必要事項を登録してください。

【出願登録の流れ】

① 留意事項の確認

② 入試区分の選択

③ 研究領域等の選択

④ 志願者情報（氏名・住所等）の入力・顔写真データの登録

※顔写真データの詳細は「3 (1) インターネット出願時に必要な書類（5 ページ）」のとおり

⑤ 出願内容の確認

⑥ 支払方法の選択

※志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。

※入力する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。その他の書類についても同様とします。

※志望研究領域の出願後の変更は認めません。

▼

（3）入学考査料 17，000 円の支払い

令和 9 年（2027 年）1 月 4 日（月）から 1 月 14 日（木）23 時 59 分 59 秒まで

インターネット出願完了後、コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかにより、指定された期間までに入学考査料をお支払いください。支払いの際に決済手数料が発生します。なお、お支払い後、入学考査料は一切返還しません。

【支払い方法】コンビニエンスストアを選択した場合

支払いに必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

【支払い方法】クレジットカードを選択した場合

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力し、決済完了すると入金完了メールが通知されます。

※入学考査料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

※クレジットカード支払いの場合、出願登録と同時に入学考査料の支払いが完了しますので、出願内容に誤りがないよう確認してください。

※入学考査料の支払い後に出願情報（住所・氏名・電話番号等）に誤りや変更が生じた場合は、教務学生課入試担当までご連絡ください。

▼

（４）必要書類の印刷・送付（詳細は「３ 出願に必要な書類等」のとおり）

令和 9 年（2027 年）1 月 8 日（金）から **1 月 14 日（木）まで（消印有効）**

※1 月 14 日（木）以前の消印で、1 月 20 日（水）までに本学に到達した出願書類を受理します。

① インターネット出願登録サイトから Web 入学志願票等の書類を印刷してください。

② 出願用封筒（市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm））を用意し、封筒貼付用宛名シート（A4 判、カラー推奨）を貼り付けてください。

※封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、直接封筒に記入してください。

③ 印刷した Web 入学志願票等の必要書類を封筒に入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。

※Web 入学志願票等の必要書類については、入学考査料の支払い後に「出願内容の確認」から取得が可能です。支払いが完了しても状態が『決済済』に反映されていない場合は、暫く時間をおいてから再度「出願内容一覧」を確認してください。

送り先

〒600-8601

京都市下京区下之町 57-1　京都市立芸術大学教務学生課入試担当

TEL：075-585-2005

▼

（５）受験票印刷

必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、試験当日までにご自身で印刷してください。

※印刷時、ページの拡大・縮小はせずに A4 で印刷してください。

３　出願に必要な書類等

(1)インターネット出願時に必要な書類

書　類		摘　要
①	顔写真データ	最近 3 か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向き・背景なしのもの。 ※ファイルの形式は JPEG、容量は 3MB 以下のデータがアップロード可。 ※不鮮明なもの・加工されているものは不可。 ※出願時に登録された写真データは、入学後学生証に使用しますので、ご留意ください。 ※インターネット出願登録サイトにアップロードして使用します。

(2)インターネット出願登録サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書　類		摘　要
①	Web 入学志願票 及び履歴書	入学考査料の支払い後に印刷（A4 判、モノクロで可）してください。 ※Web 入学志願票と履歴書は、両面印刷で提出すること。
②	封筒貼付用宛名シート	入学考査料の支払い後に印刷（A4 判、カラー推奨）してください。 印刷後、各自が準備する角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼付してください。

(3)上記(2)に加え、各自が準備して大学に提出するもの

書　類		摘　要
①	修士（博士前期）課程修了証明書又は 修了見込証明書（原本）	出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。 ※外国語で記載された書類を提出する場合は、必ず日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。 ※中国の大学院修士課程を修了された方は、CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行する有効期限内の「学歴認証書」を PDF で入手後、A4 サイズで印刷して提出してください。必ず日本語訳を添付すること。
②	学位取得証明書又は 学位取得見込証明書 ※該当者のみ	外国の大学の修士課程を修了された方で、①修士（博士前期）課程修了証明書又は修了見込証明書に学位の記載がない場合は、 出身大学院の学長又は研究科長が作成した学位取得証明書又は学位取得見込証明書を併せて提出してください。 ※①修了（見込）証明書の提出も必要です。 ※外国語で記載された書類を提出する場合は、必ず日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。 ※中国の大学院修士課程を修了された方は、CHSI が発行する「学位認証書」を提出してください。必ず日本語訳を添付すること。
③	パスポートの写し ※外国人留学生のみ	外国人留学生（本学研究留学生を含む）は、パスポート（顔写真のあるページ）の写しを提出してください。
④	戸籍謄本や運転免許証の写し等 ※該当者のみ	各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等（戸籍抄本や運転免許証の写し等）を添付すること。

(4)各研究領域において指定する書類

領域	提出書類	内容についての条件等
作曲・指揮	修士論文 （修士論文を書いていない志願者はそれに代わる論文）	・いずれの場合も日本語（8,000 字以上）又は英語（3,000 語以上）の論文とします。英語による論文の場合は、日本語（4,000 字以上）の全訳又は要約を添付すること。 ・その他に参考資料（論文等）がある場合は、同時に提出してください。
	博士論文に関する研究計画書	・日本語（2,000 字以上）又は英語（800 語以上）によるものとします。英語による場合は、日本語訳を添付すること。 ・Ａ４縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。
	作曲・指揮に関する研究計画書	・日本語（800 字以上）又は英語（300 語以上）によるものとします。英語による場合は、日本語訳を添付すること。 ・Ａ４縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。
	実技試験で使用する資料	詳細は「第４　入学者選抜試験」の「３　試験内容」（11~13 ページ）を参照してください。
器楽及び声楽	実技及び博士論文に関する研究計画書	・日本語又は英語によるものとします。（字数制限はありません。）英語による場合は、日本語訳を添付すること。 ・Ａ４縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。 ・論文（修士論文を含む）等がある場合は、同時に提出してください。英語による場合は、日本語訳を添付すること。
	実技試験で使用する資料	詳細は「第４　入学者選抜試験」の「３　試験内容」（11~13 ページ）を参照してください。
音楽学	修士論文 （修士論文を書いていない志願者はそれに代わる論文）	・いずれの場合も日本語（8,000 字以上）又は英語（3,000 語以上）の論文とします。それら以外の言語による論文の場合は、日本語（4,000 字以上）又は英語（1,500 語以上）の全訳若しくは要約を添付すること。 ・その他に参考資料（論文等）がある場合は、同時に提出してください。
	博士論文に関する研究計画書	・日本語（2,000 字以上）又は英語（800 語以上）によるものとします。 ・Ａ４縦長・横書きで、表紙に氏名と研究領域を明記すること。

(5) 外部機関による外国語資格・検定試験の成績証明書等（※出願の月からさかのぼって 2 年以内に受験したもの）

以下の「英語」「ドイツ語」「フランス語」「イタリア語」の試験のうちいずれか一つを選択し、出願時に成績証明書等を提出してください。

外国人留学生は必ず「日本語」を選択し、成績証明書等を提出してください。「英語」「ドイツ語」「フランス語」「イタリア語」の成績証明書の提出は不要です。

社会人特別選抜資格を認められた場合は、成績証明書等の提出は不要です。

		出願基準		提出方法等
科目	試験名	音楽学以外の領域	音楽学領域	
英語	TOEFL iBT ※My Best スコア不可	旧スコア 45 点以上 又は 新スコアバンド 3 以上	旧スコア 60 点以上 又は 新スコアバンド 3.5 以上	Official Score Report：ETS アカウントから本学に送付を申請 ※DI コード：G142 ※出願期間最終日を過ぎてから本学に届いたスコアは受理しません。
	TOEIC L&R ※IP テスト不可	450 点以上	550 点以上	公開テストスコア確認サービスから、本学にスコアを提出 ※申請コード：00056101 ※出願期間最終日を過ぎてから本学に届いたスコアは受理しません。
	IELTS アカデミック・モジュール	Overall Band Score 4.0 以上	Overall Band Score 5.0 以上	追加成績証明書：IELTS 申請フォームから本学に郵送を申請 ※出願期間最終日を過ぎてから本学に届いたスコアは受理しません。

科目	試験名	出願基準		提出方法等
		音楽学以外の領域	音楽学領域	
ドイツ語	ゲーテドイツ語検定試験 (Goethe-Zertifikat)	B1 以上合格		合格証：ゲーテ・インスティテュート会員ポータルサイトからダウンロード・印刷して郵送
	TestDaF	TDN3 以上		〃
	オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験(ÖSD)	B1 以上合格		合格証：原本を郵送
フランス語	フランス語学力資格試験 (DELF) フランス語上級学力資格試験 (DALF)	B1 以上合格		仮合格証:日本フランス語試験管理センターから発行された PDF を印刷して郵送 又は ディプロム（合格証）：原本を郵送
	フランス語学力テスト (TCF)	レベル 4 以上（スコア 400～499）		成績証明書:TCF 試験センターからメールで送付された PDF を印刷して郵送
イタリア語	実用イタリア語検定試験	準 2 級以上合格		合格証明書：原本を郵送
	PLIDA イタリア語資格試験	B1 以上合格		合格証明書：原本を郵送
日本語	日本語能力試験（JLPT）	N1 以上合格		認定結果及び成績に関する証明書：原本を郵送 ※「認定証」や「合格通知」は認めません

※外国人留学生は必ず「日本語」を選択すること。

※日本語を母語とする受験生は、「日本語」を選択できません。

※音楽学領域では、成績証明書等の提出に加えて、二次試験で英語を課します。社会人特別選抜の出願者も受験する必要があります。

※パソコン・スマートフォン等の試験結果画面やスコア確認画面のスクリーンショットは提出物として認めません。

※提出された証明書に偽造や加工等が発覚した場合は、出願を取り消します。

※ドイツ語、フランス語、イタリア語、日本語の合格証明書等は、出願書類と併せて郵送すること。

4　入学考査料の支払い方法について

(1) コンビニエンスストアの場合

	手順
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	インターネット出願登録サイトの画面に表示されたオンライン決済番号をレジで知らせる
ローソン/ミニストップ	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「お客様番号」「確認番号」を控える ② Loppi（ロッピー）の「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す ③「お客様番号」「確認番号」を入力 ④「申込券」を発券し、発券から 30 分以内にレジへ
セイコーマート	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「オンライン決済番号」を控える ② レジで「インターネット支払い」と知らせる ③ お客様側レジ操作画面に、「オンライン決済番号」をハイフンを除いて入力し、登録をタッチ ④ 支払内容を確認し、代金お支払い
ファミリーマート	【マルチコピー機を使用する場合】 インターネット出願登録サイトの画面に表示された「お客様番号」「確認番号」を控える ① マルチコピー機の「代金支払い/チャージ」を押す ②「番号入力」を押す ③「お客様番号」「確認番号」を入力 ④ 発券された申込券を 30 分以内にレジへ 【スマホバーコード決済を使用する場合】 ※スマートフォン、タブレットのみで利用可 ①Post@net の「出願内容一覧」→「出願内容を確認」→「コンビニ情報再確認」画面から、「バーコードを表示する」を選択 ②表示されたバーコードを 10 分以内にレジへ
セブンイレブン	①「払込票」を印刷またはインターネット出願登録サイトの画面に表示された「払込票番号」を控える ② 印刷した「払込票」を渡す、またはレジで「払込票番号」を知らせる

※支払い方法の詳細は、Post@net の「学校一覧」から「京都市立芸術大学」を検索し、「はじめに」ページにある「入学検定料のお支払方法について」を確認すること。

(2) クレジットカードでの支払い

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力してください。出願登録完了と同時に入学考査料のお支払いが完了しますので、その後の登録内容の変更はできません。

注 1　支払方法を選択する前に支払手続画面を終了した場合、Post@net で次のように手続を行ってください。

① Post@net の「出願内容一覧」から、京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認

② 出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして、出願内容の詳細画面を表示

③ 詳細画面下部にある「支払方法再選択」 ボタンをクリックして支払手続を再開

2　コンビニエンスストアの支払いに必要な番号等を控えるのを忘れた場合、Post@net で次のように確認できます。

① Post@net の「出願内容一覧」から、 京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認

② 出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして出願内容詳細画面を表示

③「コンビニ情報再確認」ボタンをクリックして番号等の情報を確認

3　入学考査料の支払期限を超えている出願内容については無効となりますので、手続を進めることはできません。

5　受験票

必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、試験当日までにご自身で印刷してください。2 月 8 日（月）までに通知がない場合は、電話等により教務学生課入試担当に問い合わせてください。

6　出願上の注意

⑴　出願は一つの研究領域に限ります。

⑵　インターネットでの出願に際して、志願者情報の入力・確認画面では必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。

⑶　インターネット出願登録サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学考査料を支払った上で、必要書類を提出期間内に「簡易書留・速達」で本学に送付する必要があります。

⑷　海外在住の受験生は、DHL や EMS 等、必要書類等が提出期間内に確実に届く方法で発送してください。また、出願書類等の到着予定日について、必ず事前に教務学生課入試担当（admission-music@kcua.ac.jp）にメールで連絡してください。

⑸　出願期間を過ぎた場合は、いかなる事情であっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮の上、必要書類を送付してください。

⑹　官公庁その他会社等に在職中又は現在他大学の大学院に在籍中の者は、出願前に勤務先又は在籍する大学院の学長の受験許可が必要な場合がありますので、勤務先又は在籍する大学院の規程等を十分に確認のうえ出願してください。

⑺　原則として、一度提出された書類は返却しません。

7　事前相談

(1)　器楽研究領域のうち、管・打楽器での受験を希望する場合は、出願前に必ず下記の記載事項を添えて教務学生課入試担当にメールで問い合わせてください。

(2)　出願にあたり、研究内容（論文）について教員との相談を希望する場合は、出願前に教務学生課入試担当にメールで問い合わせてください。面談を希望する場合はその旨を記載してください。ただし、面談を行うかどうかは研究領域において判断しますので、ご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

・メール記載事項

①　氏名
②　連絡先（電話番号、メールアドレス）
③　志望する研究領域名
④　相談を希望する教員名
⑤　現在の研究内容及び博士課程で研究したいテーマの概要
⑥　具体的な質問

※返信に時間を要する場合があります。
※出願開始後の事前相談は受け付けません。

【問合せ先】
京都市立芸術大学　教務学生課　入試担当
TEL：075-585-2005
E-mail：admission-music@kcua.ac.jp

第４　入学者選抜試験

１　選抜方法

音楽研究科博士（後期）課程の入学者選抜試験においては、二段階選抜を実施します。

一次試験の選抜は所定の書面審査を行い、合格した者のみが二次試験を受験できます。

二次試験の選抜は、「３（２）　試験内容（二次試験）」の成績を総合して行います。

２　試験日程

(1)　一次試験

年　月　日	科　　目
出願受付期間終了後	書面審査

注 1　書面審査のため、大学での受験は必要ありません。

(2)　二次試験

年　月　日	科　　目	時間（予定）
令和 9 年 3 月 1 日（月） ～3 月 2 日（火）	【作曲】口頭試問、口述試験 【指揮、器楽、声楽】実技試験、口述試験 【音楽学】英語、口述試験	10:00～

注 1 二次試験の受験の詳細については、一次試験合格発表後、インターネット出願サイト（Post@net）を利用してお知らせします。

2　音楽学領域の英語試験については、30 分以上遅刻した場合は受験資格を失います。

3　口述試験・実技試験については、原則として遅刻は認めません。

4　課せられた試験のうち一つでも受験しなかった場合は失格となり、以降の試験の受験資格を失います。

5　入学試験当日に受験できなかった場合、追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。

6　学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻しん、水痘等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。

3　試験内容

(1)　一次試験

各研究領域において課す一次試験の内容は次のとおりです。

科　目	内　　容	
書面審査	作曲・指揮領域	・修士論文又はそれに代わる論文 ・博士論文に関する研究計画書 ・作曲・指揮に関する研究計画書 ・外部機関による外国語資格・検定試験の成績証明書等
	器楽領域及び声楽領域	・実技及び博士論文に関する研究計画書 ・修士論文又はそれに代わる論文（提出された場合のみ） ・外部機関による外国語資格・検定試験の成績証明書等
	音楽学領域	・修士論文又はそれに代わる論文 ・博士論文に関する研究計画書 ・外部機関による外国語資格・検定試験の成績証明書等

(2)　二次試験

各研究領域において課す二次試験の内容は次のとおりです。

ア　作曲・指揮領域

科　目	内　　容
口述試験	提出論文等及び研究計画書に関する口頭試問
実技試験	作曲 出願時に主要作品を提出すること。その際に提出作品の演奏ＣＤ・ＤＶＤ等を添えてもかまいません。（提出物は返却しませんので、作品はコピーを提出してください。） 提出する作品数は 5 作以内とします。また、修士作品を提出してもかまいません。 提出された作品に対する口頭試問を行います。 指揮 バロック、古典派、ロマン派、近代、現代（1945 年以降に作曲された作品で、楽譜が出版されたもの）のそれぞれを含む 8 曲以上の管弦楽のレパートリーの一覧表を出願時に提出し、そのうち当日指定された 2 曲を指揮すること。（演奏は本学で準備するピアノ 2 台によるものとします。） また、レパートリー一覧表について口頭試問を行います。 ＊本学の作曲・指揮領域（指揮）においては、多岐の分野に渡り研究を行うことができますが、入学試験においては、管弦楽のレパートリーにより実施します。

イ　器楽領域

科　目	内　　容
口述試験	研究計画書等に関する口頭試問
実技試験	ピアノ バロック、古典派、ロマン派、近代、現代（1945 年以降に作曲された作品で、楽譜が出版されたもの）、エチュード（高度な技術を要するもの）のそれぞれを含む 1 時間程度のプログラムによるリサイタルを準備すること。 暗譜で演奏すること。ただし現代曲(1945 年以降の作品)のみ楽譜の使用可。 プログラムは出願時に提出すること。 ＊都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。 弦楽 1 時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。 リサイタルは、ヴァイオリン又はチェロによる演奏であること。全て暗譜で演奏すること。 プログラムは出願時に提出すること。伴奏が必要な場合はピアノによるものとし、ピアニストを同伴すること。 ＊都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。 管・打楽器 1 時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。暗譜演奏は任意とする。 プログラムは出願時に提出すること。伴奏が必要な場合はピアノによるものとし、ピアニストを同伴すること。 ＊都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。

ウ　声楽領域

科　目	内　　容
口述試験	研究計画書等に関する口頭試問
実技試験	バロックから現代までのクラシック曲から 1 時間程度の自由構成プログラムによるリサイタルを準備すること。 リサイタルは原語による暗譜演奏であること。 プログラムには 1 曲毎に演奏時間を明記すること。 プログラムは出願時に提出し、伴奏者は同伴すること。 ＊都合によりプログラムの一部を省略させることがあります。

エ　音楽学領域

科　目	内　　容
語学試験	英語（試験時間１時間 40 分） 和訳、及び志望研究分野に関する英文読解にもとづく論述問題を含む。（英和、和英辞書持込可。ただし電子辞書の場合は通信機能の無いものに限る。）
口述試験	入学後の研究計画等に関する口頭試問

【参考】過去 3 年間の語学の試験問題は、祝日を除く月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時までの間に限り、教務学生課入試担当事務室において閲覧することができます。また、過去 3 年間の語学の試験問題は、著作権法上の関係により掲載できないものを除いて、本学ホームページ（https://www.kcua.ac.jp/admission/application/）でも掲載しています。
なお、電話・文書等による照会には一切応じません。

4　第二次試験の試験会場

京都市立芸術大学大学院音楽研究科（京都市下京区下之町 57-1）

◆試験会場への略図



◆試験会場への交通機関

●JR・地下鉄・近鉄電車

JR（京都線・琵琶湖線・嵯峨野線・奈良線）、地下鉄烏丸線、近鉄京都線

京都駅から徒歩約 6 分（JR 京都駅中央口から A 棟まで）

●京都市バス

4・7・16・81・205・南5号　系統

「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」から下車すぐ （A棟まで）

●京阪本線

七条駅から徒歩約9分（1番出口からA棟まで）

注　交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。

第５　合格発表

(1)　一次試験

令和 9 年（2027 年）2月17日（水）午後 4 時（予定）から約 1 週間、インターネット出願登録サイト（Post@net）マイページの「出願内容一覧」から「合否結果照会」を選択し、確認してください。なお、合否結果の照会には本学受験時の「受験番号」とご自身の「生年月日」の入力が必要です。

(2)　二次試験

令和 9 年（2027 年）3月5日（金）午後 4 時（予定）から入学手続き期日までの間、インターネット出願登録サイト（Post@net）マイページの「出願内容一覧」から「合否結果照会」を選択し、確認してください。なお、合否結果の照会には本学受験時の「受験番号」とご自身の「生年月日」の入力が必要です。また、合格者は Post@net から必要な書類をダウンロードし、必要に応じて印刷したうえで、入学手続き期間内に入学手続きを完了してください。入学手続き期間を含む詳細についてはダウンロードした書類内に記載していますので、必ず確認してください。

※　通知期間内外を問わず、合否結果についての問い合わせには一切応じません。また本学から合格通知書等の郵送は行いません。

第６　入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は、合格通知書と共にインターネット出願システム（Post@net）マイページ上で通知します。

１　手続期間

令和 9 年（2027 年）3 月中旬

２　手続場所

京都市立芸術大学教務学生課入試担当事務室

３　入学料の納付

市内出身者　282,000 円

市外出身者　482,000 円

注　市内出身者とは、入学前年の 4 月 1 日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票の写しにより証明される者のことです。

４　誓約書の提出（正・副保証人）

５　入学料以外の納付金

(1)　学生教育研究災害傷害保険料　　2,600 円（3 年間分）

(2)　学研災付帯賠償責任保険料　　1,020 円（3 年間分）

(3)　音楽教育後援会費　　50,000 円（3 年間分）※留学生は払込不要です。

(4)　真声会（同窓会）入会金　　15,000 円 ※本学出身者及び留学生は払込不要です。

〔参考〕授業料

535,800 円（年額） ※前期、後期に分割して納入することができます。

注１　上記の入学料及び授業料は令和 8 年度（2026 年度）入学者に適用されたものであり、改定があった場合は、合格者に通知します。

注２　本学には、独自の授業料減免制度があります。また、日本学生支援機構や財団法人などの奨学金制度があります。

第７　個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

１　利用目的について

(1)　合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。

(2)　入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学前の各種連絡及び入学後の学籍管理や留学生選考等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。

(3)　入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。

(4)　入学者選抜で取得した成績等の個人情報を１年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。

(5)　入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

２　第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

(1)　上記１(1)～(5)の個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合

(2)　本学の教育後援会、同窓会に情報提供する場合（合格者のみ）

第８　音楽研究科博士（後期）課程の概要

１　音楽研究科博士（後期）課程について

(1)　専門的研究が出会い、深化する場としての博士（後期）課程

学部における基礎教育並びに大学院修士課程等において積まれてきた専門的技能及び専門的学識の研鑽を踏まえた能力の持ち主が、広領域的アプローチを視野に入れて多様な展開を図りつつ、自己の専門領域の方法理論を深化させる課程として位置づけるものです。そのため、専門研究を担う「作曲・指揮」「器楽」「声楽」「音楽学」の 4 領域を音楽専攻として単一組織にまとめています。

(2)　地域が要請する博士（後期）課程

本学は開学以来、半世紀にわたって、京都のみならず、関西、西日本地区の音楽教育の中心的拠点として機能してきました。京都及び関西地区には 10 校を超える音楽系大学がありますが、理論・実技系両方の博士（後期）課程を設置しているのは、数校のみです。公立大学として、本学に課せられた役割からしても、本学の修了生のみならず、他大学の修了生にも高度な研究の場を提供します。

(3)　国際的な音楽教育・研究の場としての博士（後期）課程

本学はドイツのフライブルク音楽大学、オーストリアのウィーン国立音楽大学及びザルツブルク・モーツァルテウム大学、イギリスの英国王立音楽大学、チェコ共和国のプラハ芸術アカデミー、韓国の韓国芸術総合学校及び檀国大学校音楽大学、台湾の国立台北芸術大学音楽学院、ノルウェーのベルゲン大学グリーグ・アカデミー、イタリアのレッチェ音楽院並びにスイスのジュネーブ高等音楽学校と国際交流協定を結んでいます。博士（後期）課程は最高水準での音楽研究のための国際交流の場を提供します。

(4)　社会人の再教育の場としての博士（後期）課程

すでに社会人として演奏活動や研究活動に活躍している専門家に、先端的な研究成果や情報、芸術的研鑽の場を提供し、社会人の再教育の場としての役割を担います。そのため、特別選抜を実施することにより、博士（後期）課程の定員内で社会人を受け入れます。また、音楽学部や音楽研究科修士課程を卒業・修了後、海外に留学し、豊かな経験を積んだ優秀な人材も歓迎します。

２　履修概要

(1)　履修課程

<table>
<tr><th rowspan="2">履修区分</th><th colspan="2" rowspan="2">授　業　科　目</th><th colspan="6">履　修　年　次</th><th colspan="3">履　修　単　位　数</th></tr>
<tr><th colspan="2">1 年次</th><th colspan="2">2 年次</th><th colspan="2">3 年次</th><th>小計</th><th>中計</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="3">必修科目</td><td colspan="2">研究領域研究指導</td><td colspan="6">単位認定はないが必修</td><td></td><td></td><td rowspan="8">12</td></tr>
<tr><td colspan="2">特別総合演習</td><td colspan="2">1</td><td colspan="2">1</td><td colspan="2"></td><td>2</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td colspan="2">音楽学演習</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td colspan="2"></td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="5">選択必修科目</td><td rowspan="4">研究領域</td><td>作曲・指揮研究</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td colspan="2"></td><td>8</td><td rowspan="4">8</td></tr>
<tr><td>器楽研究</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td colspan="2"></td><td>8</td></tr>
<tr><td>声楽研究</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td colspan="2"></td><td>8</td></tr>
<tr><td>音楽学研究</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td colspan="2"></td><td>8</td></tr>
</table>

(2) 履修方法及び修了要件

必修科目のうち、特別総合演習及び音楽学演習 2 科目計 4 単位、選択科目から各領域研究 8 単位以上を修得し、研究領域研究指導により博士論文（ただし、研究領域により、研究作品の発表又は研究演奏を行います。）を作成・提出して、審査及び最終試験に合格すること。

(3) 取得学位

作曲・指揮領域
器楽領域　　博士（音楽）　Doctor of Musical Arts（DMA）
声楽領域

音楽学領域……博士（音楽学）Doctor of Philosophy in Musicology（PhD）

3 講義等の内容

(1) 研究領域研究指導（全研究領域対象）

博士論文等作成（研究作品又は研究演奏を含む）の指導を受けるものです。各学生に対し、主任指導教員並びに論文指導教員 1 名が担当し、研究内容に応じて領域を問わず副指導教員 1 名以上が担当します。

(2) 特別総合演習（全研究領域対象）

各研究領域における理論的研究を専門的に深化させるとともに、個々の研究領域の専門性を超えて、より広範かつ総合的な視点から研究の展開を図ります。具体的には、学生が研究発表を行い、それに対して他領域の教員や学生を含めて共同討議を行います。

(3) 音楽学演習（全研究領域対象）

担当教員の指導のもと、音楽の理論的・実践的研究の基礎となる音楽学諸領域についての知見の整理とそれに基づいた考察を深め、専門領域の研究への応用を図るとともに、博士論文のテーマ決定に資します。

(4) 領域研究

職名については令和 8 年（2026 年）11 月 1 日現在
※印は令和 10 年（2028 年）3 月末退職予定の教員
※※印は令和 11 年（2029 年）3 月末退職予定の教員、
※※※印は令和 12 年（2030 年）3 月末退職予定の教員を示す。

研究領域・担当教員	研　究　指　導　内　容
作曲・指揮	作曲作品の実作又は指揮の実技と理論の研究を通して、高度な作曲技法又は指揮法の修得を目指します。そのために、作曲と指揮の密接な関係に鑑みて、双方向からの実践的・理論的研究を行うとともに、それらをとりまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな音楽の創造を図ります。
酒井　健治　教　授	作曲の作品制作及び理論の指導
※※※ 中村　典子　准教授	作曲の作品制作及び理論の指導
（着任予定）	
阪　　哲朗　教　授	指揮法及びレパートリー（管弦楽・歌劇・合唱）形成の指導

研究領域・担当教員	研　究　指　導　内　容
器楽	器楽演奏の実技と理論の研究を通して、高度な器楽演奏の修得を目標とします。そのため、演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに、それらをとりまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな器楽演奏の創造を図ります。
上野　　真　教 授	ピアノの演奏法一般並びに近現代ピアノ作品を含む解釈の指導
三舩　優子　教 授	ピアノの演奏法一般並びに古典から近現代までの解釈の指導、特にアメリカ作曲家・作品について
田村　　響　准教授	ピアノ演奏法一般並びに古典からロマン派を中心とするピアノ作品の解釈の指導
塩見　　亮　准教授	ピアノ演奏法一般並びにピアノを伴う室内楽作品の解釈と指導
戸上　眞里　教 授	ヴァイオリン演奏法一般、弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導
上森　祥平　准教授	チェロ演奏法一般、弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導
村上　　哲　教 授	金管楽器（ホルン）演奏法一般並びにオーケストラ、吹奏楽、室内楽作品の解釈と指導
加瀬　孝宏　准教授	木管楽器（オーボエ）演奏法一般並びにオーケストラ、吹奏楽、室内楽作品の解釈と指導
森本　瑞生　講 師	打楽器演奏法一般並びにオーケストラ、吹奏楽、室内楽作品の解釈と指導
声楽	声楽演奏の実技と理論の研究を通して、高度な声楽演奏の修得を目標とします。そのため、演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに、それらをとりまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな声楽演奏の創造を図ります。
久保　和範　教 授	声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導
※　小濱　妙美　特任教授	声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導
音楽学	音楽学諸分野の先端的研究の成果をふまえた、高度な音楽学研究の達成を目標とします。そのため、西洋音楽史・音楽美学・演奏科学・音楽心理学・民族音楽学・音楽人類学に関する理論的研究を行うとともに、学際的・分野横断的な研究を積極的に推進し、新たな音楽学研究の創造を図ります。
太田　峰夫　教 授	西洋音楽史領域における高度な専門的知識の提供、および研究方法の指導
池上健一郎　教 授	西洋音楽史の領域について、様式研究、資料研究、音楽理論、音楽文化論等の観点から、高度な専門的知識を提供するとともに、個々の学生の関心に即した研究方法の指導
川端美都子　教 授	民族音楽学や音楽人類学の観点から、音楽の社会的・文化的意味の考察及び民族誌的手法に関する研究の指導
正田　　悠　准教授	演奏科学・音楽心理学の観点から、高度な専門的知識を踏まえた実験・調査方法論、統計データ処理、および論文執筆に関する研究の指導

様式１

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程
出願資格認定審査申請書

（第２ 出願資格 1(8)関連）

年　　月　　日

音楽研究科長　殿

出願資格の個別審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

ふりがな		性別	男 ・ 女
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日　（　　歳）		
出願領域	領域　　楽器・声種（　　）		
希望指導教員	教　員		
出身学校（最終）※	年　　月　卒業（修了）・卒業見込		
現勤務先			
現住所	〒　　－		
受信先	〒　　－ □同上（現住所と同じ場合は、レ点を記入してください）		
連絡先	自宅　（　　）　　－ 携帯　（　　）　　－ Email　（　　）		

※出身学校には、最終学歴の学校名、学部・学科等を記載してください。

※提出書類：本様式、履歴書、業績書

様式２

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程
社会人特別選抜資格認定審査申請書

年　　月　　日

音楽研究科長　殿

以下の個別審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

・審査を希望する事項（いずれか又は両方にレ点を記入）

□社会人特別選抜受験資格　・　□出願資格（第２ 出願資格 1(8)関連）

ふりがな 氏　　名		性別	男　・　女
生年月日	年　　月　　日　（　　歳）		
出願領域	領域　　楽器・声種（　　）		
希望指導教員	教　員		
出身学校 （最終）※	年　　月　卒業（修了）・卒業見込		
現勤務先			
現住所	〒　　－		
受信先	〒　　－ □同上（現住所と同じ場合は、レ点を記入してください）		
連絡先	自宅　（　　）　　－ 携帯　（　　）　　－ Email　（　　）		

※出身学校には、原則修士課程を修了又は修了見込の大学名、研究科・学科等を記載してください。出願資格認定を希望する場合は、最終の出身学校を記載してください。

※提出書類：本様式、履歴書、業績書、所属長の推薦書（社会人特別選抜出願資格(1)に該当する者のみ）